



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場会社名 日本テレビ放送網株式会社

上場取引所 東

コード番号 9404 URL <http://www.ntv.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 大久保 好男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理局長 (氏名) 小松 伸生

TEL 03-6215-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	225,334	1.1	22,291	△4.8	26,894	△10.6	15,038	△10.4
23年3月期第3四半期	222,884	△0.2	23,424	39.9	30,087	50.9	16,788	36.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 15,771百万円 (8.1%) 23年3月期第3四半期 14,593百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	614.31	—
23年3月期第3四半期	685.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	528,484	436,233	80.9
23年3月期	528,398	427,496	79.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 427,459百万円 23年3月期 418,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	90.00	—	200.00	290.00
24年3月期	—	90.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	200.00	290.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,500	0.9	29,300	△7.5	34,000	△12.2	19,300	△8.3	788.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	25,364,548 株	23年3月期	25,364,548 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	884,766 株	23年3月期	884,738 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	24,479,794 株	23年3月期3Q	24,484,551 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成24年2月6日(月)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	264,200	2.4	25,000	△7.9	27,300	△16.1	14,800	△10.1	597	60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 個別経営成績（累計）	10
(2) 個別財政状態	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）の我が国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響やデフレ及び急速な円高の進行などにより、依然として厳しい状況が続いておりますが、企業の生産活動や雇用情勢において緩やかな持ち直しの動きが見られます。

こうした経済環境を受け、テレビ広告市況は低調に推移しておりますが、スポットセールス市況において回復の動きが見られます。また、当社は積年の努力が実り、平成23年年間視聴率（平成23年1月3日～平成24年1月1日）に関し、全日帯（6～24時）、プライム帯（19～23時）、ゴールデン帯（19～22時）の3部門において全てトップとなり、平成15年以来8年ぶりに視聴率三冠王を奪還することができました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、主たる事業であるコンテンツビジネス事業におきまして映画事業の興行収入やテレビ広告収入が前年を上回ったことで、前年同四半期に比べ24億5千万円（+1.1%）増収の2,253億3千4百万円となりました。売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、大型映画の公開に係る費用や「FIFAクラブワールドカップ Japan 2011」などの単発番組の制作費を計上したことなどにより、前年同四半期に比べ35億8千3百万円（+1.8%）増加の2,030億4千3百万円となりました。この結果、営業利益は前年同四半期に比べ11億3千3百万円（△4.8%）減益の222億9千1百万円となりました。経常利益につきましては、関連会社の好調な業績によって持分法による投資利益が増加しましたが、前年同四半期に多額の投資事業組合運用益を計上した反動減などにより、31億9千3百万円（△10.6%）減益の268億9千4百万円となりました。また、四半期純利益は、17億5千万円（△10.4%）減益の150億3千8百万円となりました。

（売上高の概況）

コンテンツビジネス事業：テレビ広告収入のうちタイム収入につきましては、前年同四半期に「2010FIFAワールドカップ 南アフリカ大会」による収入を計上したことの反動減があるものの、「FIFAクラブワールドカップ Japan 2011」などの単発番組による収入やレギュラー番組枠での収入の増加により、前年同四半期に比べ6億6千6百万円（+0.8%）増収の801億8千2百万円となりました。スポット収入につきましては、スポット広告費の地区投下量が前年を上回る中、平成23年年間視聴率の三冠王獲得という好要因もあり、在京キー局間における当社のシェアが伸び、前年同四半期に比べ6億6百万円（+0.8%）増収の777億6千2百万円となりました。このほか、興行収入において大型映画の公開があったことなどにより、コンテンツビジネス事業の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含め、前年同四半期に比べ24億7千8百万円（+1.1%）増収の2,215億2千9百万円となりました。

不動産賃貸事業：汐留及び麹町地区のテナント賃貸収入を始めとする不動産賃貸収入につきましては順調に推移しました。この結果、不動産賃貸事業の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含め、前年同四半期に比べ1億7千3百万円（+3.2%）増収の55億1千3百万円となりました。

その他の事業：番組関連グッズショップ「日テレ屋」を始めとする店舗運営などからの物品販売収入につきましては、東日本大震災の影響により落ち込みました。この結果、その他の事業の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含め、前年同四半期に比べ9千9百万円（△4.4%）減収の21億4千6百万円となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成23年11月4日付「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想から連結、個別とも変更はありません。

※将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,990	15,951
受取手形及び売掛金	75,183	80,001
有価証券	39,172	41,143
たな卸資産	4,177	3,676
番組勘定	7,580	7,449
繰延税金資産	4,836	4,591
その他	9,733	10,090
貸倒引当金	△773	△770
流動資産合計	156,899	162,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,150	44,451
機械装置及び運搬具（純額）	9,875	7,824
工具、器具及び備品（純額）	1,955	1,870
土地	138,632	138,633
リース資産（純額）	16	9
建設仮勘定	448	890
有形固定資産合計	197,080	193,679
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	148,647	145,361
長期貸付金	5,055	4,623
長期預金	8,000	8,000
繰延税金資産	1,898	1,702
その他	8,416	10,669
貸倒引当金	△72	△71
投資その他の資産合計	171,946	170,285
固定資産合計	371,498	366,350
資産合計	528,398	528,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,230	7,044
短期借入金	740	1,154
未払金	6,571	1,081
未払費用	43,335	42,074
未払法人税等	10,810	5,651
返品調整引当金	58	50
その他	3,741	4,292
流動負債合計	70,487	61,349
固定負債		
繰延税金負債	2,426	2,757
退職給付引当金	6,481	6,862
役員退職慰労引当金	124	115
長期預り保証金	20,217	20,193
その他	1,163	973
固定負債合計	30,414	30,902
負債合計	100,902	92,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,575	18,575
資本剰余金	17,928	17,928
利益剰余金	398,373	406,397
自己株式	△12,090	△12,090
株主資本合計	422,787	430,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,364	△2,679
為替換算調整勘定	△476	△671
その他の包括利益累計額合計	△3,841	△3,351
少数株主持分	8,550	8,773
純資産合計	427,496	436,233
負債純資産合計	528,398	528,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)
売上高	222,884	225,334
売上原価	149,878	153,010
売上総利益	73,005	72,323
販売費及び一般管理費	49,580	50,032
営業利益	23,424	22,291
営業外収益		
受取利息	717	938
受取配当金	1,166	1,160
持分法による投資利益	1,568	2,152
為替差益	—	16
投資事業組合運用益	3,009	213
その他	370	294
営業外収益合計	6,831	4,775
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	2	—
投資事業組合運用損	133	155
その他	28	12
営業外費用合計	169	172
経常利益	30,087	26,894
特別利益		
固定資産売却益	0	5
投資有価証券売却益	9	75
貸倒引当金戻入額	37	—
特別利益合計	47	80
特別損失		
固定資産売却損	5	11
固定資産除却損	128	200
投資有価証券評価損	1,556	1,709
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	279	—
特別損失合計	1,969	1,921
税金等調整前四半期純利益	28,165	25,052
法人税等	11,313	9,770
少数株主損益調整前四半期純利益	16,852	15,282
少数株主利益	63	243
四半期純利益	16,788	15,038

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,852	15,282
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,105	598
為替換算調整勘定	△72	△43
持分法適用会社に対する持分相当額	△81	△64
その他の包括利益合計	△2,258	489
四半期包括利益	14,593	15,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,527	15,528
少数株主に係る四半期包括利益	66	243

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンテンツ ビジネス事業	不動産 賃貸事業	その他 の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	218,364	2,862	1,657	222,884	—	222,884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	686	2,477	587	3,751	(3,751)	—
計	219,050	5,339	2,245	226,635	(3,751)	222,884
セグメント利益	22,046	1,366	11	23,424	—	23,424

(注)1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 各セグメントの主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンテンツビジネス事業	テレビ広告枠の販売、映像・音楽等のロイヤリティ収入、CD・DVD/BD・出版物等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント
その他の事業	店舗運営 他

<製品及びサービスごとの情報>

(単位：百万円)

外部顧客への売上高		コンテンツ ビジネス事業	不動産賃貸事業	その他の事業	合計
テレビ広告収入	タイム	79,516	—	—	79,516
	スポット	77,156	—	—	77,156
	計	156,672	—	—	156,672
その他の広告収入		527	—	—	527
コンテンツ販売収入		25,013	—	—	25,013
物品販売収入		26,596	—	1,518	28,114
興行収入		5,674	—	—	5,674
不動産賃貸収入		—	1,932	—	1,932
その他の収入		3,880	929	139	4,948
合 計		218,364	2,862	1,657	222,884

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンテンツ ビジネス事業	不動産 賃貸事業	その他 の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	220,937	2,958	1,438	225,334	—	225,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	591	2,554	708	3,854	(3,854)	—
計	221,529	5,513	2,146	229,188	(3,854)	225,334
セグメント利益又は損失(△)	20,957	1,357	△24	22,291	—	22,291

(注)1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 各セグメントの主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンテンツビジネス事業	テレビ広告枠の販売、映像・音楽等のロイヤリティ収入、CD・DVD/BD・出版物等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント
その他の事業	店舗運営 他

<製品及びサービスごとの情報>

（単位：百万円）

外部顧客への売上高		コンテンツ ビジネス事業	不動産賃貸事業	その他の事業	合計
テレビ広告収入	タイム	80,182	—	—	80,182
	スポット	77,762	—	—	77,762
	計	157,945	—	—	157,945
その他の広告収入		392	—	—	392
コンテンツ販売収入		26,592	—	—	26,592
物品販売収入		25,064	—	1,375	26,440
興行収入		7,199	—	—	7,199
不動産賃貸収入		—	2,031	—	2,031
その他の収入		3,743	926	62	4,732
合 計		220,937	2,958	1,438	225,334

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

平成24年3月期第3四半期の個別業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 個別経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	196,450	1.9	18,694	△6.0	20,947	△15.3	11,232	△15.6
23年3月期第3四半期	192,721	△1.8	19,881	20.4	24,733	30.6	13,312	27.1

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
24年3月期第3四半期	483,879	358,945
23年3月期	489,879	354,130

(注) 個別経営成績（累計）・個別財政状態の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。